

か 考える子
が がんばる子
や やさしい心の子
け 元気な子

学校だより

第4号

すがわら

令和6年 7月
愛川町立菅原小学校
発行責任者 前盛 朋樹
電話 046-285-2794

家庭や地域で、子どもたち自身が「自分で考えて行動する」夏休みに！

校長 前 盛 朋 樹

図工室前の池には、たくさんのメダカが泳ぎ、その水面には、「睡蓮の花」が美しく咲いています。横の理科室前には、2年生が育てているミニトマトなどの野菜の鉢が並び、毎朝子どもたちが暑い中、せっせと水やりをしています。そして、その後ろには4年生の子どもたちが作った「案山子」が現れ、2年生の子どもたちの水やりの姿を見守っているようです。

例年より約2週間遅れで、ようやく関東地方も梅雨入りしたものの、連日の猛暑。子どもたちの毎日の関心ごととは、「朝礼台の上のカラーコーン」と「プール」です。学校では毎日、熱中症指数を測定しながら「休み時間に外で遊べるか」をカラーコーンの色で示しています。そして、各学年週2回程度計画されている水泳学習。天気はもちろんですが、水温・気温に熱中症指数、これらが基準を満たしてはじめて実施となります。今年度は、保護者や学校運営協議会の委員さんなど、たくさんの方に「見守りボランティア」としてご協力いただいています。子どもたちの安全を守るために、どれだけ心強いことか・・・心より感謝申し上げます。

先生たちも朝早く出勤したり授業の合間に手分けしたりして、それらの数値の測定と水質管理、学年によっては水位の調整も行うため、水泳だけでも毎日大忙しです。中止となればボランティアの皆様と連絡を行い、実施となればプールカードの確認、子どもたち、そして自分も着替えて、ようやく授業がスタートとなります。学年により差があるものの、実際には実施が少ない学年もあり、当初の予定より期間を延ばすとともに、今年度も各学年2クラスを能力別等の3グループに分け、コロナ等で経験の少ない子どもたちに少しでも指導や支援が届くよう指導者を増やして行っています。子どもたちの「笑顔と経験」につながってくれたらと願ってやみません。

今年度はまた、3年に1度の「蔵書点検」の年。こちらの作業にも、保護者や読み聞かせの「ポエム」さんをはじめ地域の方など、たくさんの方にご尽力いただきました。その他にも、この1学期、交通安全の見守りを含め、様々な方々が、様々な場面でご尽力くださいました。「子どもたちのため」と、多くの方が様々な形で関わってください、あらためて心より感謝申し上げます。

さらに、子どもたちの学習面では、昨年度は天候の都合で実施できなかった「田植え」が、春のもみ蒔きからご指導いただいている李さんをはじめ、PTA 本部役員さんや多くの保護者の皆様のご協力により、実施することができました。4年生の子どもたちは、菅田んぼを五感（土のにおいや足の触覚等）で感じる事ができたのではないのでしょうか。ほかに、5年生は11月に行われる連合音楽会に向け、昨年度もご指導いただいた合唱の講師の渡辺由香先生に、6年生は図工と社会、総合的な学習の時間を関連付けた「わたしの縄文土器」づくりに、昨年度からご指導いただいている陶芸家の千島千穂先生に、それぞれゲストティーチャーとしてご指導いただいています。やわらかな感性の子どもたちが「プロの技」に触れ、どれも貴重な体験となっています。

もうすぐ待ちに待った夏休み。子どもたちが、家庭や地域に帰っていきます。イベントを楽しみにしている子どもたちも多いかもしれません。今学期は、誤ったSNSの使い方や校外でのトラブルなどについて、その都度、学校でも必要な指導を行いましたが、夏休みは家庭のルールや地域でのマナー等についても、子どもたちに教え、育てていく絶好のチャンスだと思います。もちろん、家庭や地域で、ふだんなかなかできない「体験」ができたらしさがありますが、「この長い44日間の夏休みをどう過ごすのか」を、子どもたち自身が自分で考えて行動することが大切だと考えています。イベントを楽しみにしつつ、夏休みのふだんの生活を子どもたち自身がどう作るか。どの子どもにも、同じ44日間です。自分の好きなことに「チャレンジ」できたら、楽しいだけでなく自信もつけられるかもしれません。学年等に応じ、子どもたちと一緒に考えていただけたら嬉しいです。

9月2日、心も体も大きく成長した子どもたちに、また元気に会えることを、心から楽しみにしています。

愛を感じることは

教育相談コーディネーター

6年生の子どもに聞きました。「お家の人は、学習について、どれくらい声をかけてくれますか？」という質問に対して、「毎日（複数回）」が29%、「ときどき（週2、3回）」が38%、「週1回くらい・めったに掛けてくれない」が33%、という結果でした。

子どもがやる気をなくす時は「ついていけない?」「宿題しなよ」「もっと〇〇したら?」という声かけ。逆に、**うれしく思う時は「がんばったね」等、褒めてくれる時**だそうです。「**学習を一緒にやってくれるので、親を誇りに思う**」という感想もありました。

声をかけてもらうことに素直に感謝している子どもが多い一方、「いろいろ言われるのはイヤ」「うるさく叱られるのは歓迎しない」などの反応も多いようです。また、「そうなんだ」「へえ」と聞き流されると、「話さない方がよかったのかなあ」という気持ちになる子どももいるようです。そして、声かけの数は多いに越したことはないものの、多ければ「それでよい」というわけでもなさそうです。やはり、**愛情をどう伝えるかで、声をかけられる子どもの気持ちも違ってくるのは間違いない**ようです。

「次はやれるよ、がんばってごらん。信じているよ!」というような**プラス思考の声かけ**で子どもの背中を押してあげてください。子どもは愛情を感じ、喜んで耳を傾けてくれることでしょう。



「夏休みの安全な過ごし方について」

児童指導担当

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。子どもたちだけで過ごす時間が増え、普段なかなかすることのない経験ができる期間となることでしょう。しかし、**事前に起こりうることを考えさせ、正しく安全に行動できるように指導・支援することは大人の役目**です。ご家庭でも次のことに注意して、お子様にお声がけくださいますよう、お願いいたします。

- 交通安全を心がけること。
- 水の事故に気をつけること。
- 火遊びは絶対にしないこと。
- 花火は子どもだけでしてはいけないこと。
- インターネットやSNS等でのトラブルに注意すること。
- お金や物のやりとりについて、家のルールを守ること。
- 公園など公共の場では、マナーを守って過ごすこと。



以上の点については、学校でも日頃より指導していますので、ご家庭でも、ご指導をよろしく
お願いいたします。

